

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	15	課題区分	A
横断的な課題	人口減少下にあってもデジタル技術や地域の強みを生かした地域づくりの推進				
地域重点政策	人口減少下にあっても「デジタル技術や地域の強みを生かし今後も活躍する長野地域」をつくる				
実施機関	長野地域振興局		担当課	所属	長野農業農村支援センター農業農村振興課
事業名	樹園地円滑継承モデル推進事業			電話	026-234-9514
				E-mail	nagano-nogvo@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	県内果樹産出額の約40%を占める地域の維持発展のため、市町村が行う果樹園を手放す意向がある農家と当該樹園地を利用したい担い手農家とのマッチングを県がサポートし、円滑に「果樹の木を未来に引継ぐ」取組みを推進する。			
	現状と課題	・管内の果樹のうち「りんご」及び「もも」については、農家の高齢化などにより経営継続が困難で栽培面積が減少している。 ・樹園地の継承についてはJAが中心となり優良品種への改植等を行ってきているが、思うように継承が進んでいない。 ・新たな果樹の担い手については、樹園地とその担い手を図示化した地域計画が市町村において作成されているが、現状維持のケースが多く、将来意向が明確に反映されていない。 ・市町村等との懇談会やJA関係者との会議において、樹園地の荒廃化の進行や樹が切られる園地の拡大が地域の課題になっており、個別マッチングの強化で対応すべきといった意見が寄せられている。			
	内容 (変更後の内容)	■モデル地区の選定(4～6月) ・市町村、JAと連携し対象市町村におけるりんご生産が盛んな地区を選定 ■モデル地区での説明会の開催(6～8月) ・弘前市の優良事例の紹介及び管内における新たな継承の仕組みの説明 ■優良事例に係る研修会の開催(7～8月) ・講師:弘前市役所農林部農政課(農地支援係)、会場:モデル地区 ■モデル地区でのアンケート調査の実施及び結果分析(8～2月) ・樹園地を丸ごと第三者に経営継承する意向農家の把握等。調査及び調査結果の分析は業者委託。 ■アンケート結果に基づく情報発信及びマッチングの開始(2月～) ・市町村担当課においてHP上で樹園地情報を発信、希望する担い手の情報を収集。貸し手と借り手のマッチング開始			
	事業期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	先進事例研修会の開催	弘前市職員による事例発表	107,210	講師旅費2人分	
	アンケート調査等の実施	調査項目作成、調査実施、結果報告等を業務委託	547,800	委託料547,800円	
	合 計		655,010		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	樹園地情報の市町村HPでの閲覧開始		1件以上	18件	○ 達成 ● 一部達成 ○ 未達成
	樹園地のマッチング件数		1件以上	0件	
事業実績・成果	【実績】 ・高山村をモデル地区とし研修会1回開催。約40名参加 ・りんご栽培農家400件にアンケート実施。 ・継承可能な樹園地情報を村HPにて情報発信を開始。 ・農地情報掲載数:18筆(3月末現在) ” https://www.vill.takayama.nagano.jp/docs/7976710.html ”				
	【成果】 ・年度途中での利用権変更は営農の都合上困難であるため、マッチング件数は目標を達成できなかったが、村HPにて積極的に園地情報を発信し担い手希望者の掘り起こしに務めた。 ・アンケート結果から今後5～10年で縮小、廃園を検討する層が多い一方で、直ぐにでも貸付、売却、継承を希望する層も一定数あり、個別経営の限界と、新たな経営形態(共同経営、法人化等)への関心が高まっていたため、多様な担い手への支援が必要と認識している。				
今後の方向性	掲載情報の充実化、マッチング件数増加に向けたPR、農地の貸し借り、営農支援に係る施策の充実化検討、他市町村への波及による広域的化				